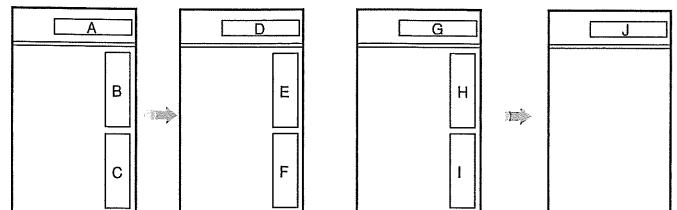


ビデオシステムと機材2010 広告料金表

書籍版広告料金		Webサイト版バナー広告料金（月額）			
スペース	価格（税別）	スペース	サイズ（pixel）	価格（税別）	
表紙 4 表紙 2 見開き 表紙 3 扉対向 カラー カラー コート コート マットコート マットコート	4色 2ページ 1ページ 1ページ 1ページ 1/2ページ 1色 1/2ページ 1色 1/2ページ	625,000円 860,000円 420,000円 450,000円 380,000円 230,000円 200,000円 110,000円 160,000円 90,000円	トップ頁/タイトル横 (A) トップ頁/縦上段 (B) トップ頁/縦下段 (C) ニュース詳細頁/横 (D) ニュース詳細頁/縦上段 (E) ニュース詳細頁/縦下段 (F) ジャンル選択頁/横 (G) ジャンル選択頁/縦上段 (H) ジャンル選択頁/縦下段 (I) 各機材個別解説頁/横 (J)	縦85×横524 縦450×横148 縦450×横148 縦85×横524 縦450×横148 縦450×横148 縦85×横524 縦450×横148 縦450×横148 縦85×横524	80,000円 100,000円 80,000円 80,000円 100,000円 80,000円 60,000円 70,000円 50,000円 100,000円

■バナー広告スペースイメージ

トップページ ニュース詳細ページ 機材ジャンル選択ページ 各機材個別解説ページ



- A : トップ頁/タイトル横
- B : トップ頁/縦上段
- C : トップ頁/縦下段
- D : ニュース詳細頁/横
- E : ニュース詳細頁/縦上段
- F : ニュース詳細頁/縦下段
- G : ジャンル選択頁/横
- H : ジャンル選択頁/縦上段
- I : ジャンル選択頁/縦下段
- J : 各個別機材解説頁/横

(注) ・上記料金表は完全版下の場合です。広告版下制作の場合は、別途実費加算となります。
 ・Webサイトのバナー広告料金は、2010年11月までのもので、その後変更される可能性があります。
 ・バナー広告は月単位のご契約となりますが、最大4つまでの広告原稿を週1回のペースでローテーションさせることも可能です。

■書籍版広告寸法：1ページ：天地257×左右182mm（裁切り寸法；ロゴ・文字など断裁時に切れては困るものは、10mmほど内側にしてください）

1/2ページ：天地115×左右160mm

■バナー広告入稿形態：指定のサイズのTIFFフォーマットファイルをRGBデータでご入稿ください。
 GIFアニメによる入稿も可能ですが、容量は200kバイト以内でお願いします。
 なお、FLASHアニメでの入稿は未対応です。

体裁	B5判、左綴じ・アジロ製本、約430ページ（予定）
発行部数	30,000部
販売	全国書店店頭にて
予価	3,000円
発行日	2009年11月中旬（予定）
◆広告スペース申し込み締め切り	2009年 10月 9日
◆広告原稿締め切り（完全版下の場合）	2009年 10月 16日

株式会社 写真工業出版社
 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町2-10-31
 TEL: 03 (3556) 2323
 FAX: 03 (3556) 2325
 MAIL: ad@shashinkogyo.co.jp
 営業部：岩瀬 純、真喜志 重康

ビデオα別冊

ビデオシステムと機材 2010年度版

【広告のご案内】

株式会社 写真工業出版社

■ビデオシステムと機材2010広告のご案内

1990年から発刊しておりますビデオα別冊の好評シリーズ「ビデオシステムと機材」を、本年も刊行する運びとなりました。隔年発刊でスタートした本シリーズは、2004年度版から毎年の刊行となり、各方面に大変ご好評をいただき、14冊目を迎えることになります。

さまざまな機材やシステムが存在するなか、使用目的に最適で対費用効果の高い機材の選定やシステム構築を行うことは、放送局や撮影/編集プロダクション関係者、そして業務の方々にとって悩みの種であると思われます。「ビデオシステムと機材2010」は“システムづくりに役立つプロ用機材ガイド”をテーマとしており、ビデオ制作のための機材やシステムの導入を検討している、すべてのプロに必要な情報を提供します。

HDビデオ撮影対応デジタル一眼を新たに掲載

本年の「ビデオシステムと機材」では、昨今業界の話題となっておりますHDビデオ撮影に対応したデジタル一眼を、新たなジャンルとして採り上げております。搭載されている大型撮像素子による被写界進度の浅いボケ味のある映像や、豊富なラインナップがそろった各種交換レンズにより、従来のビデオカメラでは困難であった映像表現を可能としたHDビデオ撮影対応デジタル一眼は、いま多くの読者の方々の関心を集めています。このような状況のなか、本誌ではあくまでもプロの使用を念頭においてアプローチで採り上げております。

Webサイトによる新たなアプローチ

前述いたしましたように、ビデオ制作のための機材やシステムの導入を検討している、すべてのプロに必要な情報を提供してまいりました本シリーズですが、年1回発行のため、情報の即時性といった観点では、昨今のインターネットを飛び交うさまざまなニュースソースにどうしても一歩譲る形となっていました。

そこで2008年度版発刊時に、従来の「ビデオシステムと機材」を大幅にリファインとともに、インターネット上に「ビデオシステムと機材Webサイト」を立ち上げました。即時性の求められる情報や誌面では紹介しきれない各種機材の詳細データはWebサイトで、発刊から1年を振り返り、紙媒体の一覧性を活かした各種製品紹介などを書籍で行うことにより、インターネットと紙媒体双方の利点を活かすとともに苦手な部分を補完し合います。

「紙媒体とネット」双方の相乗効果により、製品販売促進が加速

読者対象としましては、撮影/編集プロダクションの方々を初めとして、地上波/BS/CS/CATVの各放送局関係者、企業内ビデオ、デジタルコンテンツクリエーター、公会堂、文教視聴覚、ブライダルなど、放送/業務用ビデオ機器を使用した映像制作に携わる方々全般を想定しております。書籍とWebサイトを融合したコンテンツ「ビデオシステムと機材」、常に双方を読者の方々が目にするシステムにより、書籍およびWebサイト双方の広告も、お互いの相乗効果が大いに期待できます！

つきましては、なにとぞ本書およびWebサイトに対します広告のご出稿をご検討いただけますようお願い申し上げます。貴社製品の販売促進の一環としてかならずや絶好の媒体となることを確信しております。

ビデオシステムと機材2010掲載製品ジャンル一覧

■ビデオカメラ

スタジオカメラ、ハンディカメラ、ボックス/リモートカメラ、カメラレコーダー、小型カメラレコーダー、アクセサリー

■HDビデオ撮影対応デジタル一眼/アクセサリー

■ビデオレコーダー/プレーヤー

テープ、ディスク、光ディスク、メモリーなど各種メディア使用製品

■編集機/編集コントローラー

■ビデオスイッチャー/DVE

■オーディオミクシングコンソール

■DAW/MTR

■ノンリニアシステム

ノンリニアビデオ編集/合成システム、ノンリニアビデオオーディオ入出力ボード、ノンリニアビデオ オーディオ入出力インターフェース、DTVシステム、ノンリニアアップリケーションソフト、ブレーキングソフト

■ストレージシステム/サーバー

■テロップ/グラフィックスシステム

■モニター/計測機器

ビデオモニター、オーディオモニター（スピーカー）、波形モニター/ベクトルスコープ、テスト信号発生器、オーデ

■オーレベル/VUメーター

■バッテリー/電源

■レンズ

ボックススタイルレンズ、ポートブルタイプレンズ、シネスタイルレンズ、レンズアクセサリー

■三脚/特機

雲台（ヘッド）、三脚（トライポッド）、三脚システムパッケージ、ベデスタル、三脚系その他

■特機

スタビライザー、カメラサポートシステム、ドリー、クレーン、特機系その他

■照明機材

ライティングシステム/キット、オンボードライト、ハンディライト、照明機材アクセサリー

■収音機材

マイクロホン、ワイヤレス送受信機、ポートブルオーディオミクサー、ポートブルオーディオレコーダー

■収納ケース/バック/カバー/水中ハウジング

■システム周辺機器

コンバーター、カラーコレクター、フレームシンクロナイザー、タイムベースコレクター、モジュラーシステム、マトリックス/ルーティングスイッチャー、シンクジェネレーター、タイムコードジェネレーター、電送装置、マルチピューワー、デュプリケートシステム、その他

ビデオシステムと機材Web詳細

Webサイトに掲載するコンテンツの大きな柱は以下の2点となります。

①NEWS～New Products & Informations（週1回更新）

新製品発表のニュースや業界動向など、週1回更新。またInterBEEやNABなど、大きな機材展のレポートもお届けします。このほかWebサイト独自の連載コラムも掲載されております。

②各種製品データベース

書籍版「ビデオシステムと機材」に掲載されている製品の概要、機能・性能解説、主な仕様など書籍版に掲載しきれない情報までを詳細に解説しております。

なお現時点では、以下に記します製品ジャンルが掲載され、それ以外のジャンルの製品につきましても随時立ち上げていく予定となっております。

■小型カメラレコーダー

■システム周辺機器…etc



「ビデオシステムと機材Web」トップページ